



“地域のことは地域で考えよう”

2018年11月28日

おきぎん県内景況・速報

2018年10月

—県内景況は、拡大している—

■個人消費

スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

■企業倒産

件数は前年同月 下回り、負債総額は上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2018年10月分)

◎2018年10月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

10月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに、前年同月を上回りました。百貨店売上高も、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同月を下回りました。新車販売台数は、前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村などによる発注工事の減少などで前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

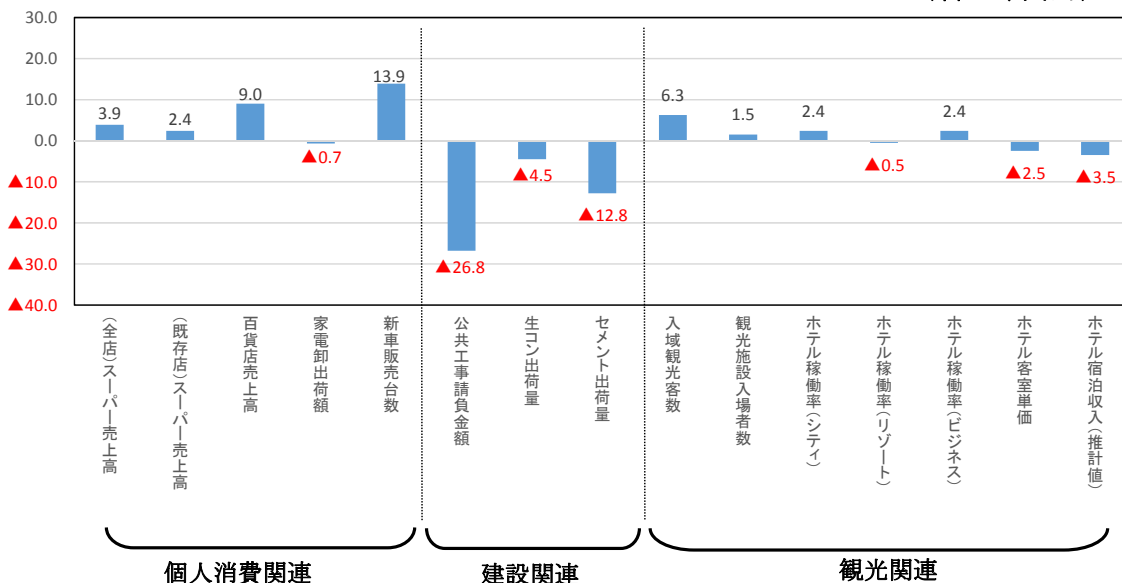
観光関連では、入域観光客数は2ヵ月ぶりに前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、ビジネスホテルが前年同月を上回り、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から57ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



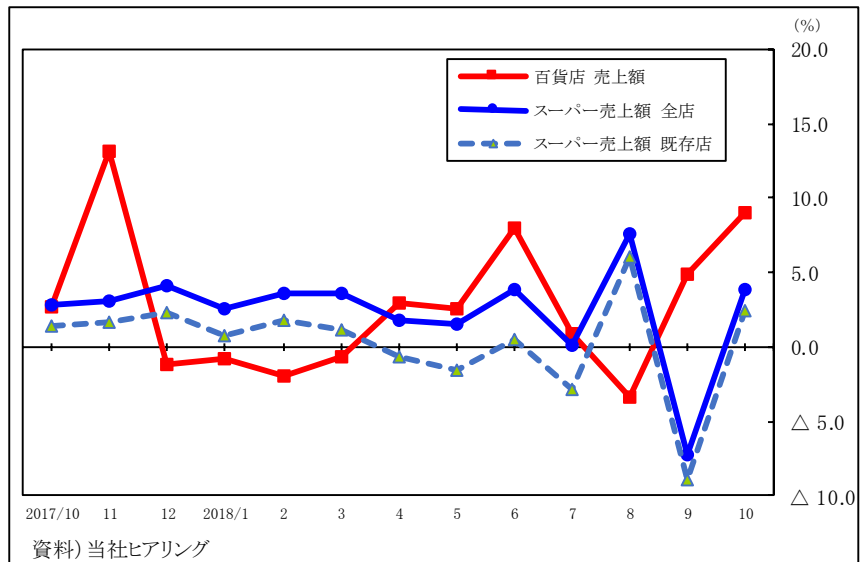


■ 個人消費： (やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースとも前年同月を上回り、百貨店売上高も前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2017/10	2.8	1.4	2.7
11	3.1	1.7	13.2
12	4.1	2.3	△ 1.2
2018/1	2.6	0.8	△ 0.8
2	3.6	1.8	△ 1.9
3	3.6	1.2	△ 0.6
4	1.8	△ 0.7	3.0
5	1.6	△ 1.5	2.6
6	3.8	0.5	8.0
7	0.1	△ 2.9	0.9
8	7.6	6.1	△ 3.3
9	△ 7.2	△ 8.9	4.9
10	3.9	2.4	9.0



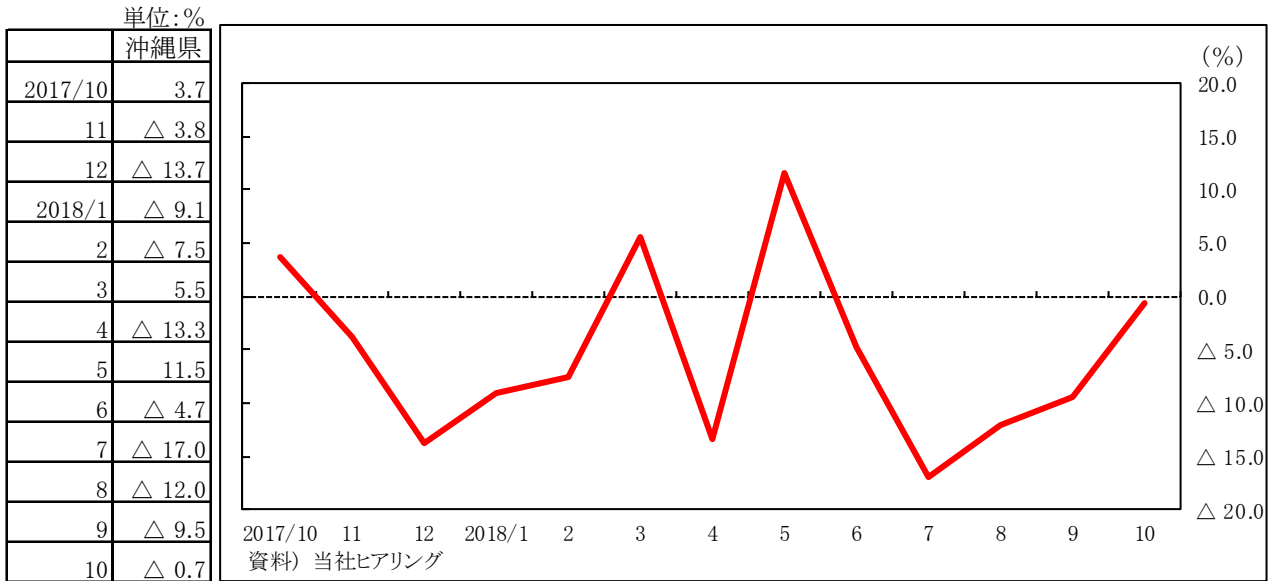
注) 前年同月比

10月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 3.9%増)」は、新規出店効果などにより、「食料品(同 4.0%増)」、「衣料品(同 0.7%増)」、「家庭用品(同 4.2%増)」と、全般的に売上が伸び、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 2.4%増)」は、前年に比べ気温が低く推移した影響などから、秋冬物商材を中心に売上が伸び、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同 2.2%増)」は、野菜や精肉、鮮魚などを中心に、全般的に売上が伸び、前年同月を上回りました。「衣料品(同 1.2%増)」は、秋冬物商材が好調に伸び、前年同月を上回りました。また、「家庭用品(同 3.3%増)」は、寝具のほか、テレビ、洗濯機などの家電の売上が伸び、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、2ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 9.0%増)。内訳をみると、「家庭用品(9.8%減)」は、家具等の売れ行きが低調だったことから、前年同月を下回りました。一方、ウエイトの高い「衣料品(同 2.1%増)」は、販促企画により「紳士服(同 0.8%増)」、「婦人服(同 1.4%増)」、「子供服(13.1%増)」などで冬物商材の売上が伸び、前年同月を上回りました。「食料品(同 20.6%増)」は、前年未開催だった物産展など催事企画が好調だったことから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 14.2%増)」、「身の回り品(同 11.6%増)」は、売り場のリニューアル効果や、インバウンド需要の増加などにより、前年同月を上回りました。

② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は5ヵ月連続で前年同月を下回る。

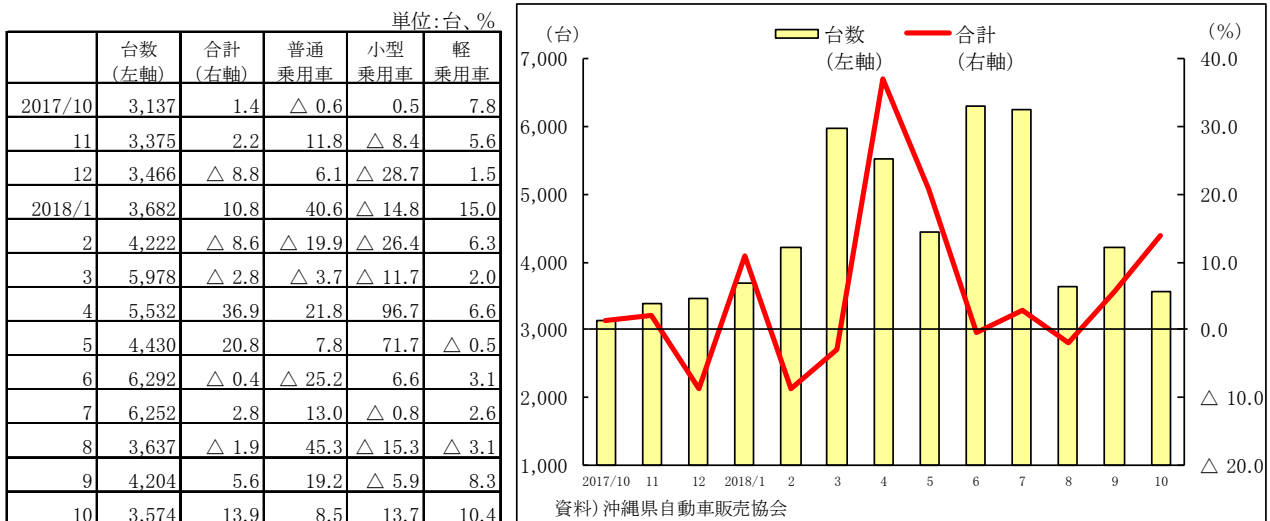


注) 前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンや太陽光パネルなどの需要が減少し、5ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 0.7%減)。品目別では、「テレビ(同 14.9%増)」は、4Kテレビなど高価格帯商品の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。「洗濯機(同 11.6%増)」は、買い替え需要が増加し、前年同月を上回りました。

一方、「エアコン(同 30.9%減)」は、前年より気温が低く推移したことから売れ行きが伸びず、前年同月を下回りました。「太陽光パネル(同 67.0%減)」は需要が減少し、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、2ヵ月連続で前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 3,574 台(同 13.9%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同 8.5%増)」、「小型乗用車(同 13.7%増)」は、自家用車需要やレンタカー需要が増加し、前年同月を上回りました。「軽乗用車(同 10.4%増)」は、レンタカー需要が減少したものの、自家用車需要が好調だったことから、前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

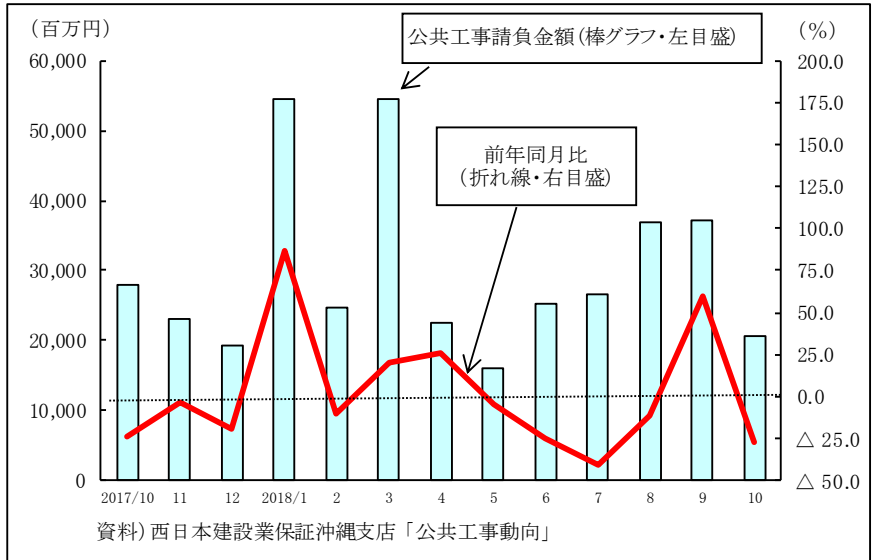


■ 建設関連： (良い)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2017/10	28,073	△23.5
11	23,134	△3.7
12	19,275	△19.4
2018/1	54,569	87.2
2	24,674	△10.3
3	54,532	19.7
4	22,513	26.3
5	16,134	△4.5
6	25,324	△24.9
7	26,729	△40.6
8	36,794	△11.5
9	37,192	59.2
10	20,558	△26.8

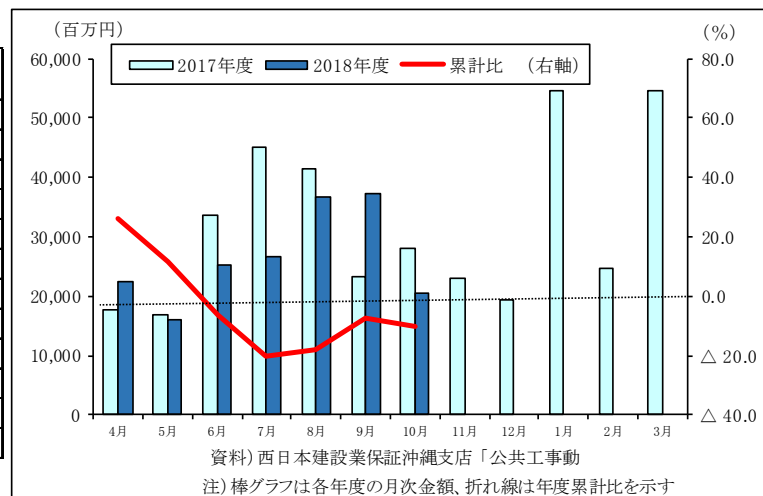


10月の公共工事請負金額は、前年同月比26.8%減の205億5,800万円となりました(2ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「国(同74.6%減)」や「市町村(同35.3%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「独立行政法人等(同1483.8%増)」や「沖縄県(同37.8%増)」のほか、「その他の公共的団体(同17.4%増)」は上回りました。

【参考】公共工事(年度累計)・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。

単位:百万円、%

	2017年度	2018年度	累計比(右軸)
4月	17,823	22,513	26.3
5月	16,886	16,134	11.3
6月	33,703	25,324	△6.5
7月	45,031	26,729	△20.0
8月	41,576	36,794	△17.8
9月	23,363	37,192	△7.7
10月	28,073	20,558	△10.3
11月	23,134		
12月	19,275		
1月	54,569		
2月	24,674		
3月	54,532		

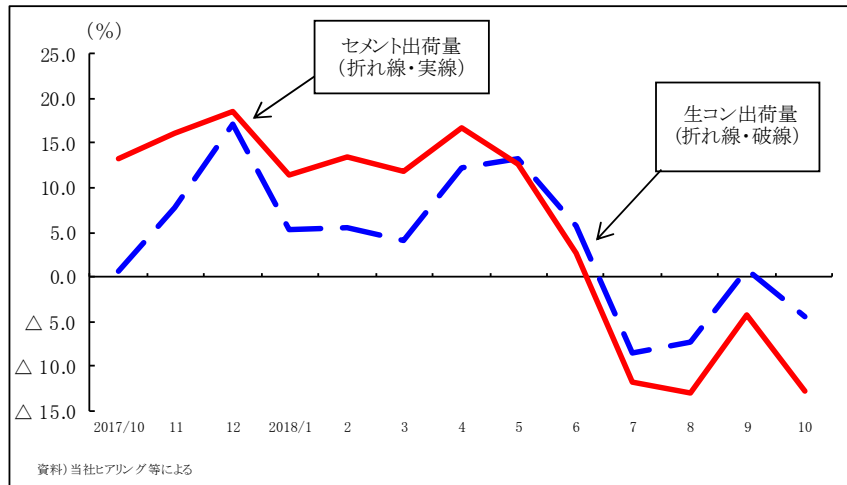


今年度累計値では、10.3%減となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2017/10	0.7	13.2
11	7.8	16.1
12	17.1	18.6
2018/1	5.2	11.5
2	5.4	13.4
3	4.0	11.9
4	12.2	16.8
5	13.2	12.6
6	5.7	2.6
7	△ 8.5	△ 11.8
8	△ 7.4	△ 13.0
9	0.8	△ 4.4
10	△ 4.5	△ 12.8



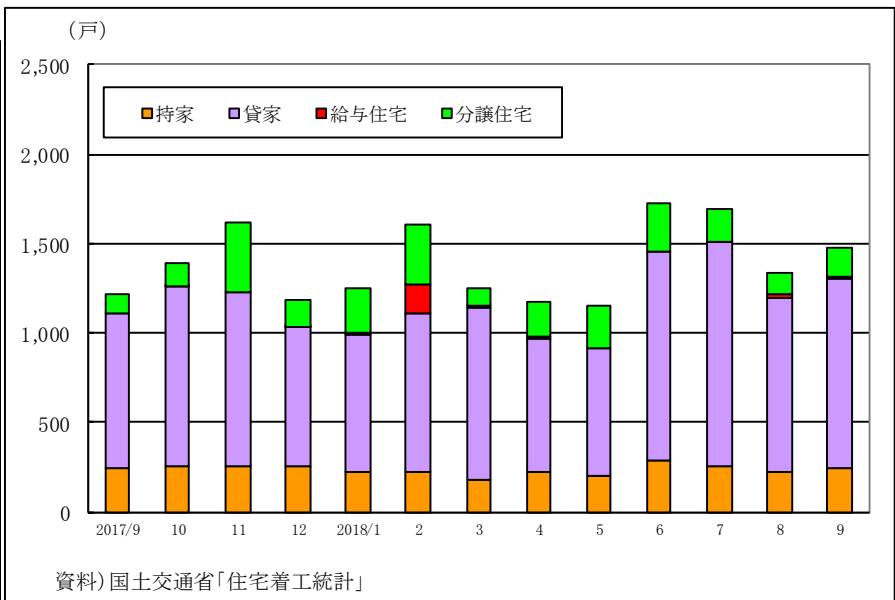
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は4.5%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より18.9%下回り、民間工事向け出荷は3.8%上回りました。セメント出荷量は12.8%減と4ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(9月)・・・着工戸数は前年同月を上回る。

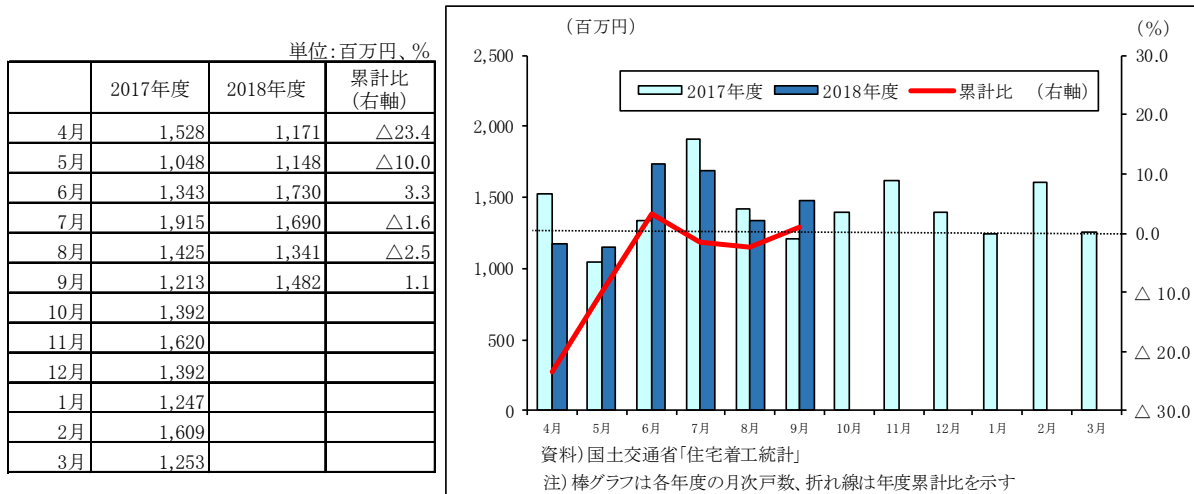
単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2017/9	1,213	△29.2
10	1,392	△19.6
11	1,620	53.3
12	1,392	△19.4
2018/1	1,247	2.6
2	1,609	43.0
3	1,253	△8.9
4	1,171	△23.4
5	1,148	9.5
6	1,730	28.8
7	1,690	△11.7
8	1,341	△5.9
9	1,482	22.2



新設住宅着工戸数(9月)は、全体で前年同月比22.2%増の1,482戸と3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同21.0%増)」や「持家(同1.7%増)」のほか、「給与住宅」や「分譲住宅(同74.5%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・9月までの着工戸数は前年同期を上回る。



年度累計で見ると、9月までの累計値で1.1%増となっています。

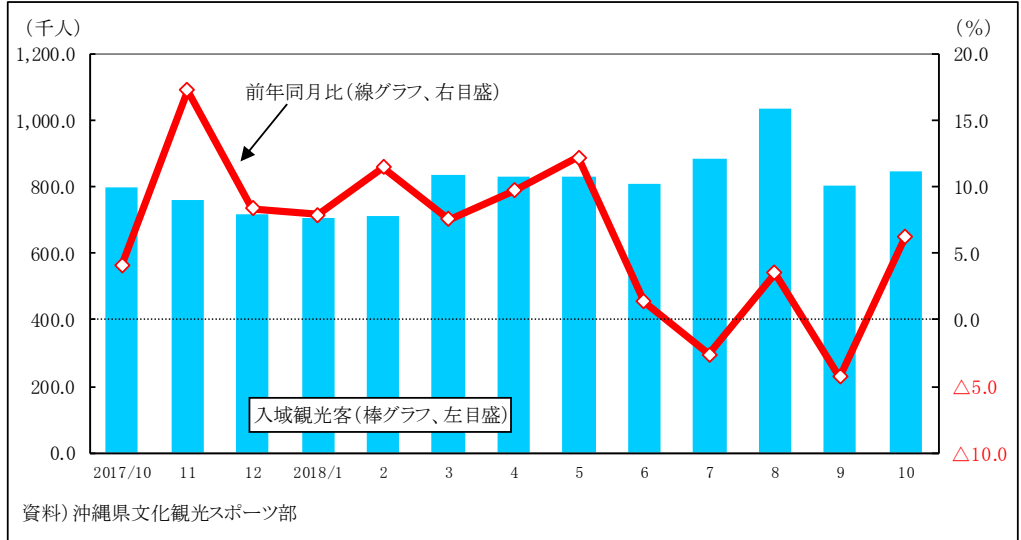


■観光関連： (やや良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2017/10	799.3	4.1
11	762.9	17.3
12	718.5	8.4
2018/1	704.3	7.9
2	711.4	11.5
3	837.4	7.6
4	833.2	9.7
5	830.9	12.2
6	809.7	1.4
7	884.1	△ 2.6
8	1,037.9	3.5
9	801.5	△ 4.3
10	849.3	6.3

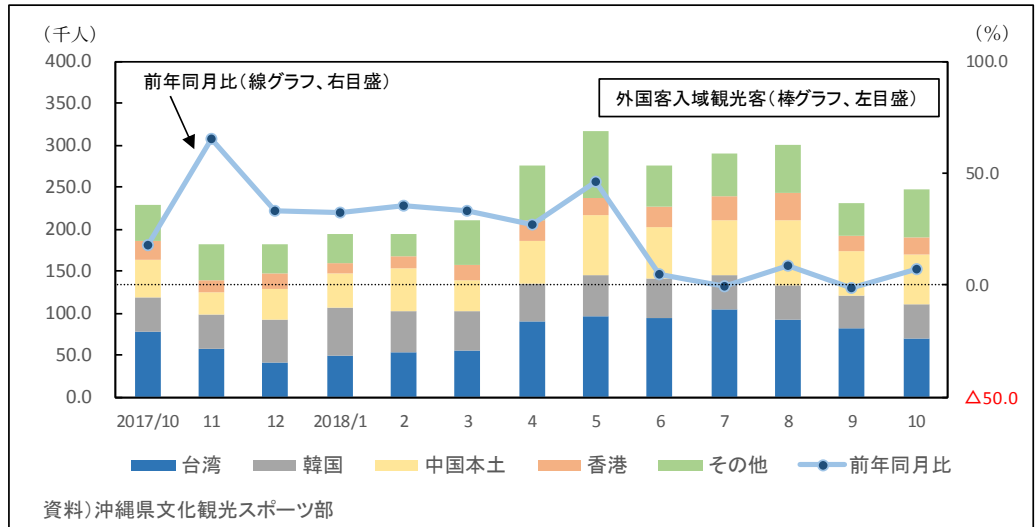
※外国客は乗務員等を含む



外国客 入域観光客数・・・2ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2017/10	229.2	17.7
11	182.4	65.5
12	183.1	33.5
2018/1	194.4	32.1
2	194.8	35.2
3	210.3	32.8
4	276.8	27.2
5	316.3	45.9
6	275.1	5.2
7	290.8	△ 0.6
8	300.0	8.8
9	230.5	△ 1.3
10	246.5	7.5

※外国客は乗務員等を含む



10月の入域観光客数は、50,000人多い849,300人(前年同月比6.3%増)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

内訳をみると、「国内客(同5.7%増)」は602,800人と、台風の影響が懸念されたものの、航空会社の先行割引販売やダイナミックパッケージの販売が良好だったこと、航空会社の離島直行便が良好だったことなどから、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

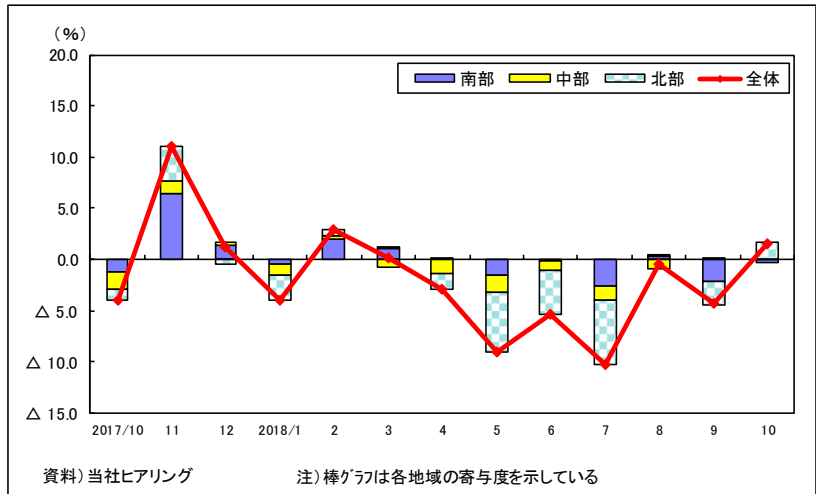
他方、「外国客(同7.5%増)」は、246,500人と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。台風の影響が懸念されたものの、航空路線の拡充や大型クルーズ船の寄港が増加したことなどから、前年同月を上回りました。「台湾(同9.7%減)」「韓国(同0.2%増)」「中国本土(同31.1%増)」「香港(同9.9%減)」

※乗務員等を除く2018年10月実績＝全体817,900人(同6.1%増)、外国客215,100人(同7.3%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数・・・7ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2017/10	△ 4.0	△ 3.1	△ 14.5	△ 2.0
11	11.1	15.7	9.7	7.3
12	1.2	3.2	3.2	△ 1.2
2018/1	△ 4.0	△ 1.2	△ 7.7	△ 5.1
2	2.9	5.6	1.8	1.2
3	0.2	2.6	△ 7.0	0.1
4	△ 2.9	0.1	△ 11.3	△ 3.1
5	△ 9.0	△ 4.0	△ 14.6	△ 11.7
6	△ 5.3	△ 0.5	△ 8.5	△ 8.4
7	△ 10.3	△ 7.8	△ 12.8	△ 11.3
8	△ 0.5	1.0	△ 7.5	0.1
9	△ 4.3	r △ 5.9	1.0	△ 4.2
10	1.5	△ 0.6	0.04	3.6



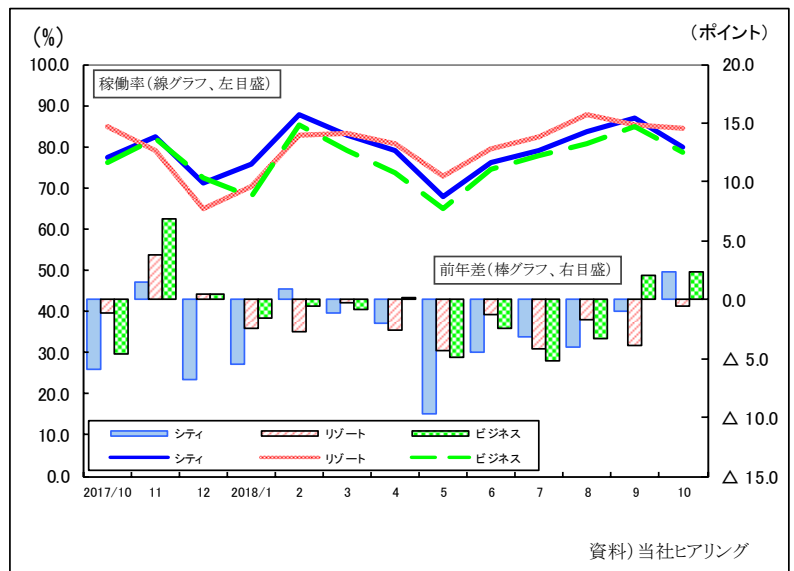
※調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より1.5%増加(7ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、中部にある観光施設は同0.04%増と2ヵ月連続、北部は同3.6%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回り、南部は同0.6%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率・・・シティホテル、ビジネスホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは下回る。

単位:%、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2017/10	r 77.5	84.9	76.3	r △ 5.9	△ 1.1	△ 4.6
11	82.4	78.9	81.8	1.5	3.8	6.8
12	71.2	65.0	72.5	△ 6.8	0.5	0.5
2018/1	75.8	70.5	68.0	△ 5.5	△ 2.4	△ 1.6
2	87.8	82.8	85.2	0.9	△ 2.7	△ 0.5
3	82.8	83.0	79.0	△ 1.2	△ 0.2	△ 0.8
4	78.9	80.5	73.6	△ 2.0	△ 2.6	0.2
5	67.9	72.9	65.0	△ 9.7	△ 4.3	△ 4.9
6	76.0	79.5	74.4	△ 4.5	△ 1.3	△ 2.5
7	79.0	82.4	77.8	△ 3.2	△ 4.2	△ 5.2
8	83.5	87.9	80.5	△ 4.1	△ 1.7	△ 3.3
9	87.0	85.4	84.9	△ 1.0	△ 3.9	2.1
10	79.9	84.4	78.7	2.4	△ 0.5	2.4



注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

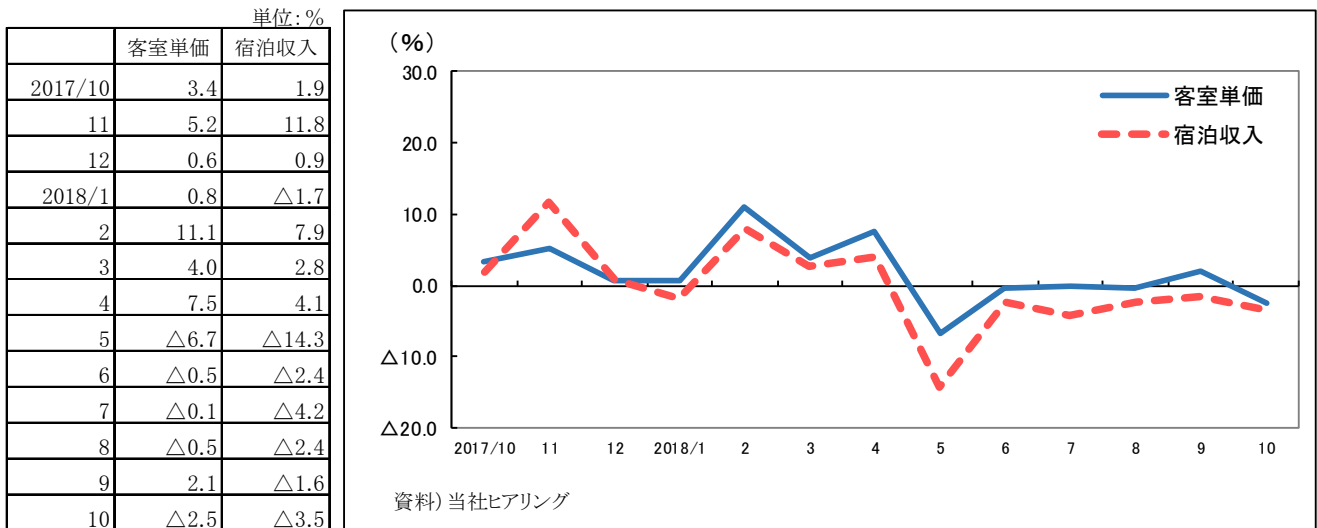
注) 2018年4月については、サンプル調査の都合上、ビジネスホテルは6ホテルとなっている。

注) 2018年1月より、シティホテル対象施設数が変更(9⇒8)となったことから、2017年1月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが79.9%と2.4ポイント上昇(8ヵ月ぶり)、リゾートホテルが84.4%と0.5ポイント減少(10ヵ月連続)、ビジネスホテルが78.7%と2.4ポイント上昇(2ヵ月連続)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2018年1月より、シティホテル対象施設数に変更(9⇒8)となったことから、2017年1月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 2.5%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同3.5%減と前年同月を下回りました。

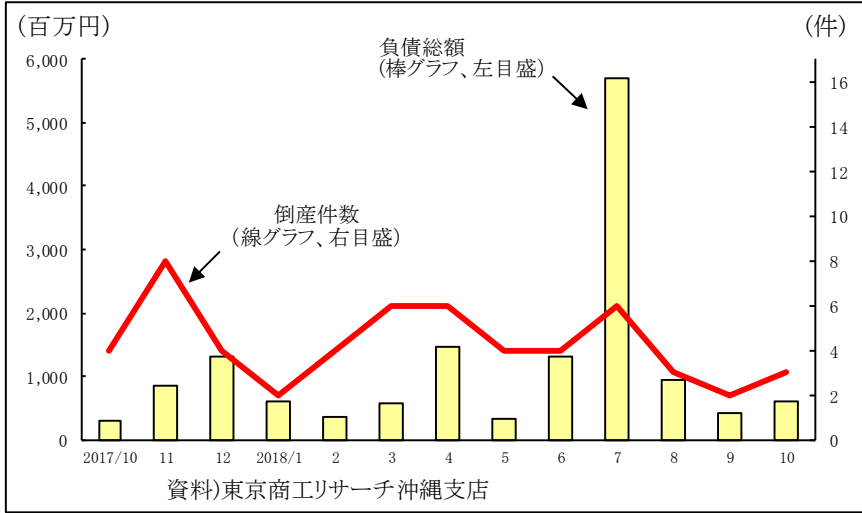


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を下回り、負債総額は上回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2017/10	307	4
11	852	8
12	1,299	4
2018/1	620	2
2	366	4
3	576	6
4	1,467	6
5	347	4
6	1,317	4
7	5,697	6
8	941	3
9	414	2
10	605	3



10月の企業倒産件数は、3件(うち大口倒産は2件)となり、同25.0%減と前年同月を下回りました。
負債総額は6億500万円となり、前年同月より97.1%増となりました。

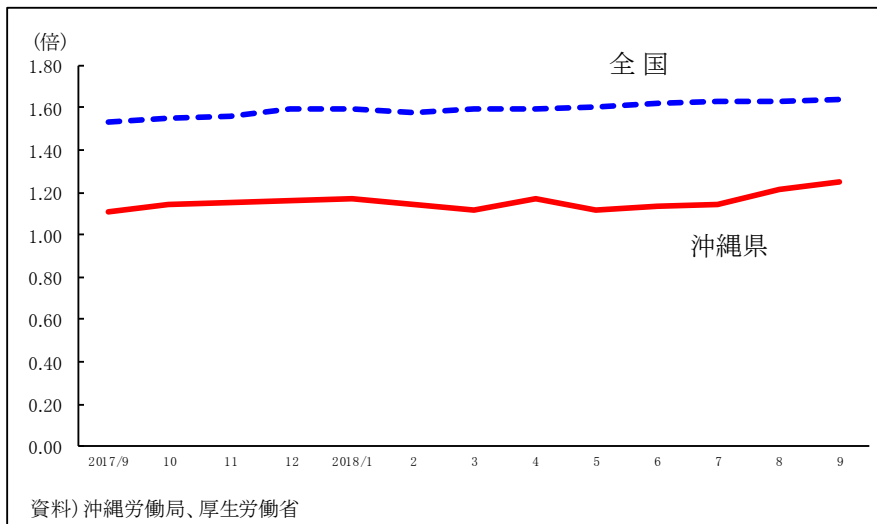


【参考】雇用関連： (良い)

有効求人倍率(9月)・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2017/9	1.11	1.53
10	1.14	1.55
11	1.15	1.56
12	1.16	1.59
2018/1	1.17	1.59
2	1.14	1.58
3	1.12	1.59
4	1.17	1.59
5	1.12	1.60
6	1.13	1.62
7	1.14	1.63
8	1.21	1.63
9	1.25	1.64



注)季節調整済

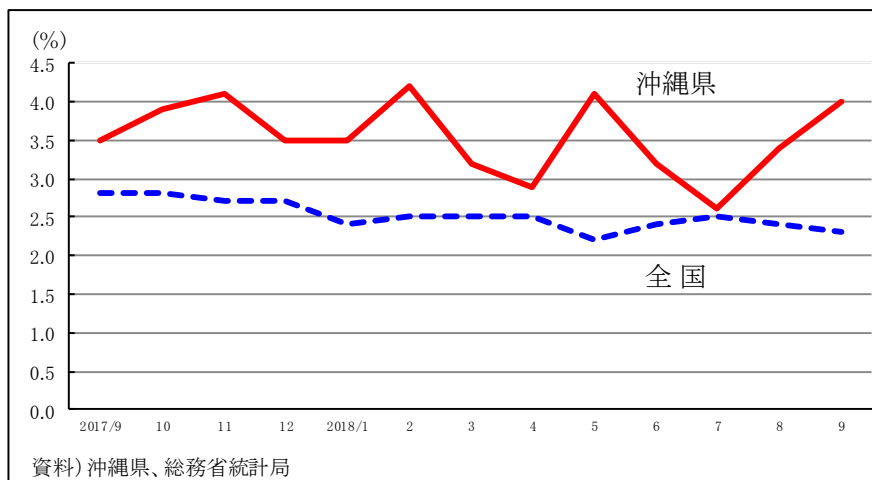
9月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.3%増の30,286人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.7%減の24,209人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.25倍となり前月より0.04ポイント上昇しました。

完全失業率（9月）・・・沖縄は前月より上昇し、全国は低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2017/9	3.5	2.8
10	3.9	2.8
11	4.1	2.7
12	3.5	2.7
2018/1	3.5	2.4
2	4.2	2.5
3	3.2	2.5
4	2.9	2.5
5	4.1	2.2
6	3.2	2.4
7	2.6	2.5
8	3.4	2.4
9	4.0	2.3

注) 季節調整済



9月の完全失業率(季節調整値)は、4.0%となり前月より0.6ポイント上昇しました。